

# 平成 29 年度福岡市地球温暖化対策実行計画協議会 議事録（要旨）

■日 時：平成 29 年 8 月 30 日（水）15 時 00 分～16 時 45 分

■場 所：天神NKビル A+B会議室

## 1. 開会

- ・委員紹介
- ・開会の挨拶
- ・本計画の進行管理について

〈 事務局より、参考資料 3 に基づき、本計画の進行管理について説明  
あわせて、参考資料 1 に基づき、本協議会設置要綱の改定について報告 〉

## 2. 議事

### (1) 区域施策編の進捗状況について

- ・温室効果ガス排出状況等について

〈事務局より、資料 1 に基づき、温室効果ガスの排出状況等を説明〉

#### ○委員からの主な意見

- ・福岡市の場合、家庭・業務部門の割合が多いため、電力の CO2 排出係数の影響が大きく出ている。2030 年度の排出係数を 0.37 kg-CO2/kWh と想定した場合に、ほぼ 2030 年度の目標達成が容易にできると見えるので、見せ方の工夫を検討してもいいのではないか。
- ・家庭などで設置した太陽光発電による電力を自家消費している消費量についても、エネルギー消費量に含まれていないデータとして、別に認識しておくことが望ましい。

- ・施策の取組状況について

〈事務局より、資料 2 に基づき、施策の取組状況を説明〉

#### ○委員からの主な意見

- ・建物の省エネについては、県で、賃貸住宅の省エネ化を進めているため、市でも取り組んでいただきたい。
- ・公共交通等の利便性向上と利用促進の取組において、ベンチプロジェクトがあるが、取組として素晴らしい。現在 22 箇所ということだが、この事業によりバスの利用者増加にもつながると思うので、今後たくさん増やしてほしい。
- ・環境にやさしい交通体系の構築のための成果指標として、1 日あたりの鉄道バス乗車人数が設定されているが、自動車から鉄道・バスに移行する人はもちろん、徒歩・自転車に移行する人の実績を成果指標として設定できると望ましい。
- ・民間事業者が実施するバスの各種定期乗車券による公共交通利用促進への効果も大きいので、このような努力も評価していかなければならない。

- ・今後販売される高効率な家庭用燃料電池や、燃料電池バスなど、製品も日々アップデートされているため、このような新たな動向も考慮して、導入促進の補助事業の内容も考えてほしい。
- ・もったいない福岡エコ運動は、事業系ごみの減量をめざす、食品廃棄物を削減する趣旨の事業とだけではなく、温暖化対策や貧困対策にもつながるものとして進めてほしい。

## (2) 事務事業編の進捗状況について

- ・エネルギー消費状況等について
- ・個別取組の目標設定について

- ・事務局より、資料3及び4に基づき、エネルギー消費状況や個別取組の目標設定案等を説明
- ・事務局案にて確定

### ○委員からの主な意見

- ・企業においても、様々なコピー用紙使用量の削減のための取組を行っているが、なかなか削減は難しい状況。
- ・プリンタで印刷する際に、各個人がIDカードでログインしないと印刷できないシステムの導入なども使用量の削減には有効である。
- ・まずは、コピー用紙の使用状況（所属や個人など）をきちんと把握し、増加要因等を分析することが必要。

## 3. 閉会